

はじめに

当町では、平成23年と平成25年に台風による洪水が発生し、町に大きな被害をもたらしました。今後も、馬淵川という大河川が流れていることから、台風や集中豪雨による風水害に注意を払っていく必要があります。

また、日本は、世界でも有数の地震の多発国であり、平成7年の阪神・淡路大震災や、平成23年の東日本大震災など、甚大な被害を受けてきました。このような突発的に発生する大地震をはじめ、近年はこれまでに経験したことのないような水害が、全国各地で毎年のように発生しており、当町でもいつ自然災害が起きても不思議ではありません。

この「南部町防災マップ」は、青森県が平成30年10月に公表した、馬淵川中流部が千年に一度の降雨により氾濫した場合に想定される最大規模での浸水想定区域図を中心に、地震の揺れやすさマップ、地域の危険度マップ、風水害や地震に関する防災知識のページ等で構成されています。

「自分の身は自分で守る」、さらに「自分たちの地域は自分たちで守る」を常に心がけるとともに、町民の皆さん一人ひとりが防災意識を持ち、日ごろから災害に備えて実施していただくことが大変重要となることから、本書をご家庭や地域での防災活動にご活用いただければ幸いです。

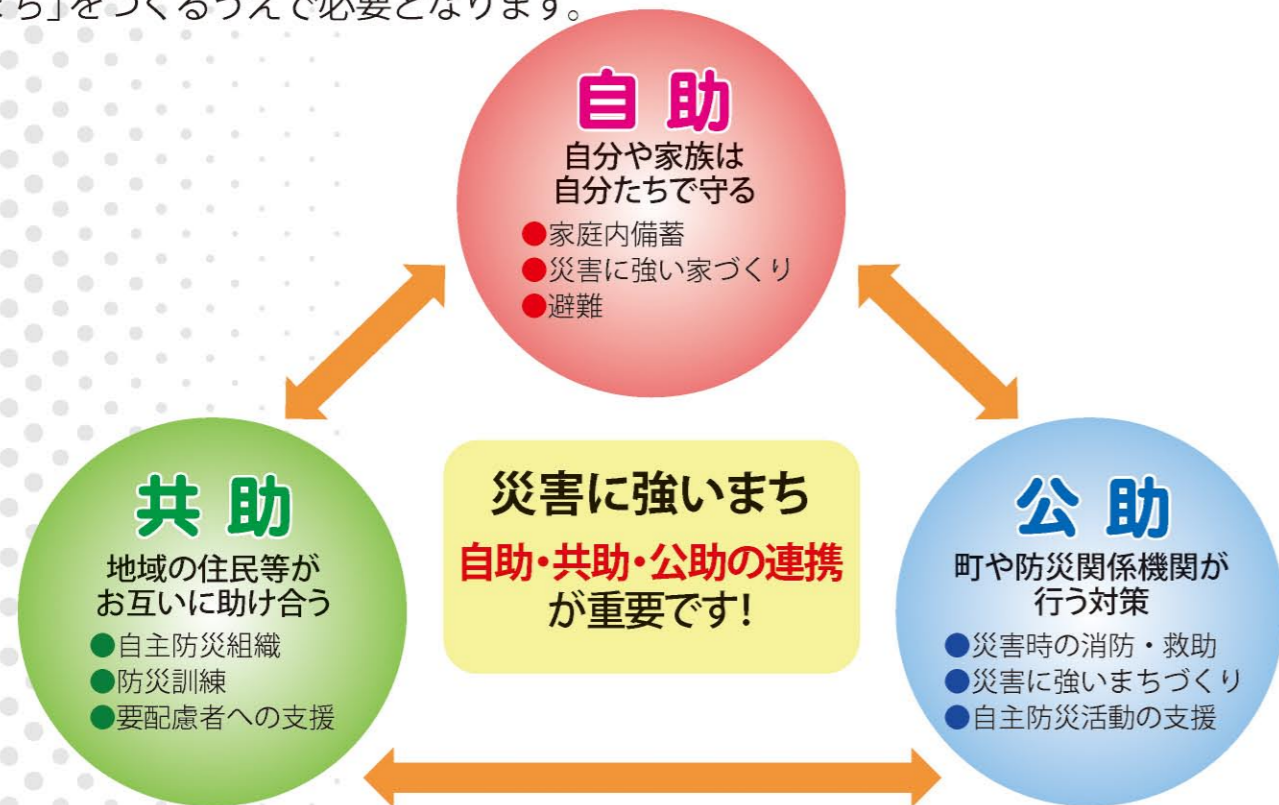
令和2年9月 南部町

災害を乗り越えるためには～自助・共助・公助の連携～

洪水や地震等の災害の発生を防ぐことはできませんが、自助・共助・公助が連携することで、被害を減らすことができます。

特に、大規模な災害が発生した場合は、直後から様々な活動が必要となり、これらの対策を行政による「公助」のみで行うことは困難です。

このような状況の中で、被害を軽減し、災害を乗り越えるためには、自分の身は自分で守る「自助」、地域で互いに助け合う「共助」と、行政による「公助」がそれぞれの役割を分担し、連携して災害対策を行うことが、「災害に強いまち」をつくるうえで必要となります。



目次

防災マップの使い方	1・2
災害時避難場所	3・4
洪水・土砂災害ハザードマップの見方	5・6
馬淵川中流浸水想定区域図について	7・8
洪水・土砂災害ハザードマップの索引図	9・10
洪水・土砂災害ハザードマップ	11～48
風水害対策について	49・50
避難に際して	51・52
揺れやすさマップ	53・54
地域の危険度マップ	55～62
地震対策	63
地震発生時の行動の目安	64
避難情報について	65
避難行動について	66
みんなの町は、みんなで守る	67
地域における防災活動	68
家庭内備蓄のススメ	69
非常持出品	70
わが家の防災メモ	71
災害時の連絡	72
正確な情報を集めよう	裏表紙